

平成27年度第3回利賀地域審議会会議録

- 1 開催日時 平成28年 1 月 13 日（水）午後3時00分～午後4時30分
- 2 開催場所 南砺市利賀行政センター特別会議室
- 3 出席委員 12名 野原 教正、北田 耕三、平田 明德、野原 善幸
岡部 光昭、野原 哲二、米倉 宗嗣、上田 明美
野原 宏史、野原 一司、関 弘幸、野原 雅乃

欠席委員 2名 長谷 桂子、田中小百合

- 4 市側出席者 長澤孝司（市長政策室長）、上口長博（行革・推進課長）、高桑久義（利賀行政センター長）、石崎 修（行革・推進係長）岩腰 肇（利賀行政センター次長）、
- 5 傍聴者 1名
- 6 協議事項 公共施設再編計画（素案）について

7 会議経過

○開会

事務局（センター長）から開会を行う。

○会長挨拶

本日は第3回の利賀地域審議会に委員皆様、市当局より長澤室長をはじめ幹部の皆様にご出席いただきありがとうございます。

昨晩は公共施設再編計画（素案）についての住民説明会があり色々な質問がでて説明をしていただいたが、それらを踏まえて本日の会合が有意義なものとなるようお願いを申し上げ挨拶とさせていただきます。

○協議議題

長澤室長より挨拶を兼ねて協議議題の説明（ダイジェスト版、資料1）に入る。

上口行革・推進課長より資料2を説明。

（会 長） 当局から説明があったが、この件について委員からの質疑にはいる。

（平田委員） コミュニティーセンターや集会施設は譲渡を受け地域で管理していく事となるが、管理しきれずに返還する場合は、破損している箇所があった場合は修繕して返還しなければならないのか。

（上口課長） 修繕の必要はなくそのままの状態でもらえばよい。

(野原一委員) 譲渡2の「自治会等に限り」、譲渡3の「民間等に限り」の等はどこまでの範囲か。

解体は、予算が付いた時点で行なわれるのか。(現使用者の民間止むを得ず撤去後、空き家状態で放置しておくのか)

目的変更等については市役所内の横の連携を密にし、先走ることなく決定してもらいた。

(長澤室長) 譲渡2の自治会等の等については、自治団体(振興会)で受けられる場合もある事から等としている。

譲渡3については、民間管理者が今後も収益があるのかどうかを判断(相談)させていただき決定していきたい。

活性化協議会等の団体についても慎重に相談させていただき決定を行ないたい。

(岡部委員) 口山地区は、週に1回のオンデマンドバスしかないので自家用車での移動手段しかない状態であり、寂しい地域になる危機感を持っているので検討いただきたい。

投票所となっている旧小学校については、解体は止むを得ないと考えるが、口山地区投票所は廃止してほしくないなのでその事を検討され解体を進めてほしい。

旧スキー場のレストハウスの有効活用について、口山地区で文化交流事業の拠点施設にならないかと検討しているが、短期5年間のなかで猶予が貰えるなら口山地区で再度検討したいので配慮願わないか。

(長澤室長) 投票所については、旧小学校を解体しても他の施設で投票可能かを担当課へ報告する。解体する場合はどのような状況になったかを説明したい。

旧スキー場レストハウスについては、どの施設もそうだが使える施設を維持管理費が掛かるので解体すれば良いとは思っておらず、誰も営業しない使用しないから解体の方向へ行くのであり、誰かが頑張ってやると言っているのを待っている。

但し、営利を目的として企業がやるのか、自治会がやるのかで譲渡2、譲渡3の方向性が決まってくるので相談検討しながら決定したい。

(野原哲委員) 旧スキー場のセンターハウスやロッジについては記載されているが、それ以外の設備撤去はどのように考えているのか。

センターハウスは目的変更して使用されるが、ゲレンデにあるリフトワイヤー等を別の場所で野外運動施設として活用出来ないかと考えているが可能か。

道の駅については短期で譲渡若しくは解体となっているが、利賀ダム工事用道路は今後10年かけないと通行出来ないという思いがあり、トイレだけ残して売店施設を解体というのは乱暴でないかと思う。

また、利賀ダム検討時に湖面橋近辺に道の駅を検討されていたという話も聞いていたが青写真等はあるのか。

小中一環教育でアークパスが存在しているが、保育園も園児が減少し危機感を持っているので、幼小中一環教育も良いのではと個人的に考えている。

(長澤室長) スキー場が復活という話は基本的にない。30年後計画では1～3施設と言っている。センターハウスは目的変更で検討しているが、どの様に変更していくかは行政が決定していくのではなく、今後皆さんで検討してもらいたい。

道の駅については、南砺市内全施設について、譲渡若しくは解体の方向で検討しているのでご理解いただきたい。

利賀バイパスでの道の駅については、完成した時点で地域をどの様にしていくかの議論が生まれてくるので現在は検討不可能と考えている。

また、来年度は行政センターが小さな拠点として改修予定であるので、販売等もその中で考えてもらえれば一層効率的であると思う。

幼小中一環教育については、施設の耐用年数まで小学校等の施設が存続される計画となっており、その時点でどうしていくか検討すれば良いと考えるが、その前に検討が必要な場合はその時に検討すれば良いと思う。

(関 委員) 再編の方向性のなかで、譲渡2→譲渡3、譲渡3→譲渡2への考えはあり得るのか。

(長澤室長) 地元から民間や、民間から自治会への変更はあり得る。

(平田委員) 公共施設再編に関して先進地事例はないか、また相談に乗ってくれる行政部署はあるのか。

(長澤室長) JAが撤退し、自治会が経営者となって生活用品を販売している事例はある。(鳥取県雲南市)

相談については、行革推進課が窓口となる。

(野原一委員) 南砺市内には2つの病院があるが、再編計画には該当しないのか。

(長澤室長) 第2次病院改革プラン検討会で検討されており、平成28年度中に策定されると聞いているのでその時点で方向性が出されると思っている。

(関 委員) 公共施設再編計画の際に、コンサルに委託されているのか。

(長澤室長) 委託している。

(長澤室長) 利賀地域の65施設について、賛成は出来ないが仕方ないというご意見をいただければありがたい。

(野原会長) 痛みを分けて進めていかなければならない事は住民の皆さんも理解していると思うが、諸手を揚げて賛成は出来ないが痛み分けは理解しているという事でご理解いただき進めていただきたい。

(長澤室長) この計画で5年間進めて行きたいのでご協力をよろしくお願いしたい。

(副会長) 閉会挨拶

○閉会